

- 年岐阜脳神経外科カンファレンス. 岐阜市, 2010. 1. 24
15. 竹中俊介 他: 頭部外傷後遺症・意識障害患者における脳機能画像診断. 第 33 回日本脳神経外傷学会. 東京, 2010. 3. 5-6
- (2) 書籍・雑誌
なし

【平成 22 年度】

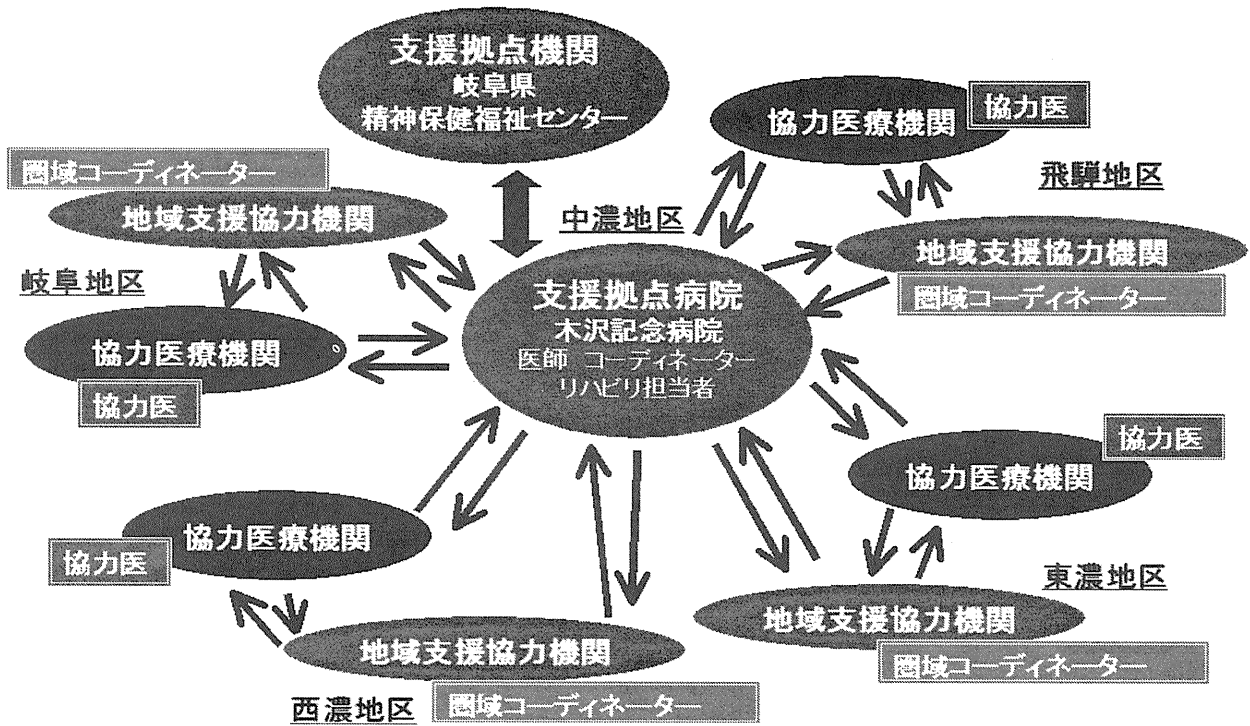
- (1) 学会発表
- <国際学会>
1. Shinoda J et al: The utility of FA-SPM imaging for detecting minute brain lesions secondary to diffuse axonal injury. The 78th Annual Meeting of the American Association of Neurological Surgeons (AANS), Philadelphia, 2010. 5. 1-5
 2. Osumi T et al: An fMRI study using the ultimatum game and the dictator game. The 15th World Congress of Psychophysiology, Budapest, 2010. 8. 30-9. 4
 3. Nakao T et al: Medial prefrontal cortex - dorsal anterior cingulate cortex connectivity during behavior selection without an objective correct answer. The 15th World Congress of Psychophysiology, Budapest, 2010. 8. 30-9. 4
- <国内学会>
4. 竹中俊介 他: 頭部外傷後遺症・高次脳機能障害患者における脳機能画像診断. 第 13 回岐阜県脳神経外科懇話会. 岐阜市, 2010. 5. 29
 5. 秋 達樹 他: 頭部外傷後の後遺症に対して Zolpidem が奏功したと思われる一例. 第 63 回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2010. 5. 31
 6. 糟谷幸徳 他: MR spectroscopy (MRS) による遷延性意識障害患者の評価. 第 19 回日本意識障害学会. 下関市, 2010. 7. 23-24
 7. 鳥居みゆき 他: 注視の実現にヘリウム風船が有効だった 1 例. 第 19 回日本意識障害学会. 下関市, 2010. 7. 23-24
 8. 松本 淳 他: 頭部交通外傷後遷延性意識障害患者に対する鍼治療効果の電気生理学的検討. 第 19 回日本意識障害学会. 下関市, 2010. 7. 23-24
 9. 伊藤智子 他: 情動障害患者への訓練導入方法の検討. 第 19 回日本意識障害学会. 下関市, 2010. 7. 23-24
 10. 竹中俊介, 秋 達樹, 三輪和弘, 浅野好孝, 篠田 淳: 高次脳機能障害患者における核医学診断 - 第 2 報 -. 第 16 回東海脳神経核医学研究会. 名古屋市, 2010. 8. 28
 11. 浅野好孝 他: 3 tesla multivoxel MR spectroscopy による頭部外傷後遷延性意識障害患者の評価. 第 69 回日本脳神経外科学会. 福岡市, 2010. 10. 27-29
 12. 宇津山志穂 他: 障害尺度を用いた高次脳機能障害者の就労帰結に関する検討. 第 34 回日本高次脳機能障害学会. 大宮市, 2010. 11. 18-19
 13. 浅野好孝 他: 3 tesla multivoxel MR spectroscopy による遷延性意識障害患者の評価. 第 64 回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2010. 12. 2
 14. 豊島義哉 他: 慢性重度彌慢性軸索損傷患者の特有な言語障害 - 発語失行と麻痺性構音障害の混在した症候群 -. 第 64 回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2010. 12. 2
 15. 松本 淳 他: 頭部交通外傷後遷延性意識障害患者の鍼治療 - 痙縮に対する誘発筋電図を用いた検討 -. 第 64 回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2010. 12. 2
 16. 加藤玲子 他: 音楽活動に反映される高次脳機能障害の視点について - 意識障害と前頭葉症状を呈する患者からの考察 -. 第 4 回日本音楽医療研究会. 名古屋市, 2010. 12. 5

17. 竹中俊介 他：頭部外傷後遺症・高次脳機能障害の核医学診断. 第2回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会. 名古屋市, 2011.2.12
- (2) 書籍・雑誌
別に記載。

【平成23年度】

- (1) 学会発表
1. 和田哲也 他：高次脳機能障害患者における受傷時意識消失時間と日常生活能力・精神機能・DTI (FA) との関係. 第65回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2011.6.6
 2. 和田哲也 他：高次脳機能障害患者における受傷時意識消失時間とADL・精神機能・DTI との関係. 第20回日本意識障害学会. 弘前市, 2011.9.2-3
 3. 松本 淳 他：頭部交通外傷後遷延性意識障害患者に対する鍼治療効果の検討. 第20回日本意識障害学会. 弘前市, 2011.9.2-3
 4. 奥村由香 他：遷延性意識障害患者の認知機能について —聞き分け課題を用いたfMRIによる検討—. 第20回日本意識障害学会. 弘前市, 2011.9.2-3
 5. 吉田愛菜 他：慢性意識障害患者のコミュニケーション獲得への一試策. 第20回日本意識障害学会. 弘前市, 2011.9.2-3
 6. 奥村由香 他：遷延性意識障害患者の聴覚認知について. 聞き分け課題を用いたfMRI脳賦活試験による検討. 第27回岐阜県病院協会医学会. 岐阜市, 2011.10.9
 7. 酒井那実 他：重症頭部外傷後遺症後のADL向上に伴い高次脳機能障害改善を呈した一例. 第27回岐阜県病院協会医学会. 岐阜市, 2011.10.9
 8. 伊東慶一 他：頭部外傷後の高次脳機能障害診断に対するFDG-PETとECD-SPECTの有用性. 第70回日本脳神経外科学会総会. 横浜市, 2011, 10.12-14
 9. 浅野好孝 他：FDG-PETによる軽度脳損傷患者の高次脳機能障害の評価. 第70回日本脳神経外科学会総会. 横浜市, 2011, 10.12-14
 10. 篠田 淳 他：脳腫瘍患者の高次脳機能障害行政認定について. 第29回日本脳腫瘍学会, 下呂市. 2011.11.27-29
 11. 松本 淳 他：頭部交通外傷後遷延性意識障害患者に対する鍼治療の試み（第4報）—運動誘発電位を用いた検討—. 第66回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2011.12.1
 12. 秋 達樹 他：定量FDG-PET測定を用いた頭部外傷後遺症・遷延性意識障害患者の長期経過の検討. 第66回岐阜臨床神経集談会. 岐阜市, 2011.12.1
- (2) 書籍・雑誌
別に記載。

《岐阜県 高次脳機能障害支援体制図》



三重県 平成21～23年度報告

21年度

支援拠点機関（電話）		三重県身体障害者総合福祉センター（059-231-0037）		
支援コーディネーター数		1. 5人		
支援拠点機関相談数		来所 480人	訪問 381人	連絡等 675人
支援拠点機関連携数		来所 4件	訪問 23件	連絡等 506件
支援拠点機 関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉 強会・家族交流会等）
	主催	2回	2回	8回
	講師等協力	3回	5回	17回
その他活動	冊子、ウェブサイ ド、執筆ほか	「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害者の制度活 用の手引き」を作成し、配布。		

22年度

支援拠点機関（電話）		三重県身体障害者総合福祉センター（059-231-0037）		
支援コーディネーター数		1. 5人		
支援拠点機関相談数		来所 435人	訪問 253人	連絡等 431人
支援拠点機関連携数		来所 17件	訪問 191件	連絡等 460件
支援拠点機 関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉 強会・家族交流会等）
	主催	3回	2回	8回
	講師等協力	0回	10回	24回
その他活動	冊子、ウェブサイ ド、執筆ほか	「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害者の制度活 用の手引き」「高次脳機能障がいって、なあに？」（小児用 パンフレット）を作成し、配布。		

23年度

支援拠点機関（電話）		三重県身体障害者総合福祉センター（059-231-0037）		
支援コーディネーター数		1. 5人		
支援拠点機関相談数		来所 410人	訪問 326人	連絡等 567人
支援拠点機関連携数		来所 15件	訪問 259件	連絡等 578件
支援拠点機 関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉 強会・家族交流会等）
	主催	2回	2回	8回
	講師等協力	2回	5回	42回
その他活動	冊子、ウェブサイ ド、執筆ほか	「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害者の制度活 用の手引き」を作成し、配布。		

21年度の実績（主な講習会の主催等）

「主催」

- ・高次脳機能障害者地域支援セミナー
 1. 平成21年9月5日
 2. 平成21年11月14日

- ・高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 1. 平成21年7月23日
 2. 平成22年3月18日
- ・高次脳機能障害ケースカンファレンス
(当センターの会議に拠点病院医師が参加 8回)

「協力」

- ・高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
 1. 平成21年10月17日
 2. 平成22年1月30日
- ・平成21年度職業リハビリテーション実践セミナー
- ・三重県障害者生活支援事業連絡協議会第3回研究会議
- ・身体障害者リハビリテーション研究集会
- ・和歌山県高次脳機能障害支援普及事業研修会
- ・ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センターなど）
- ・家族定例会 9回
- ・市主催の相談会 10回

「学会発表」

1. 日本リハビリテーション医学会学
2. 日本職業リハビリテーション学会
3. 社会的行動障害者への就労支援

「視察対応」

1. 岩手県
2. 埼玉県総合リハビリテーションセンター
3. 奈良県総合リハビリテーションセンター
4. 名古屋市総合リハビリテーションセンター

22年度の実績（主な講習会の主催等）

「主催」

- ・高次脳機能障害者地域支援セミナー
 1. 平成22年6月5日
 2. 平成23年2月19日
- ・高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 1. 平成22年7月23日
 2. 平成23年3月17日
- ・東海ブロック連絡協議会
 1. 平成22年9月25日
- ・高次脳機能障害ケースカンファレンス
(当センターの会議に拠点病院医師が参加 8回)

「協力」

- ・高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
 1. 平成22年9月25日

2. 平成23年2月19日
- ・ 鈴鹿市福祉関係職員連絡会
 - ・ 平成22年度三重県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修
 - ・ 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
 - ・ 三重県相談従事者初任者研修
 - ・ 三重県相談従事者現任研修
 - ・ 医療ソーシャルワーカー研修
 - ・ 松阪西中学校
 - ・ 平成22年度職業リハビリテーション実践セミナー
 - ・ NPO 法人交通事故被害者支援センター
 - ・ ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センターなど）
 - ・ 家族定例会 10回
 - ・ 市主催の相談会 5回

23年度の実績（主な講習会の主催等）

「主催」

- ・ 高次脳機能障害者地域支援セミナー
 1. 平成23年5月29日
 2. 平成24年2月12日
- ・ 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 1. 平成23年7月7日
 2. 平成24年3月15日
- ・ 高次脳機能障害ケースカンファレンス
（当センターの会議に拠点病院医師が参加 8回）

「協力」

- ・ 高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
 1. 平成23年10月10日
- ・ 三重県障害者相談支援センター 相談支援部会
- ・ 障害者就業・生活支援センター（東海・北陸ブロック）
- ・ 障害者職業総合センター
- ・ ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センターなど）
- ・ 家族定例会 12回
- ・ 市主催の相談会 7回

「視察対応」

1. 社会福祉法人釧路のぞみ協会

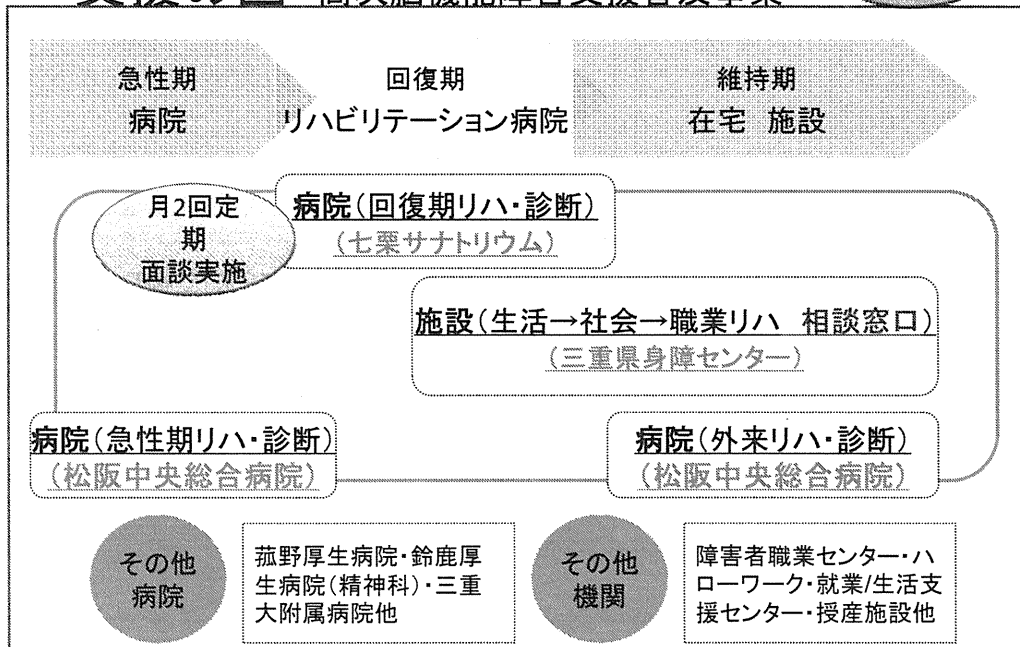
「その他」

損保協会の助成による研究として、支援の経過がわかりやすく、新たな支援につながる時に役立つ手帳を作成し、その効果を検証中。

※上記とは別に、事業報告を提出（別紙参照）

支援の図 高次脳機能障害支援普及事業

三重県
モデル



今後の課題

- ・ 支援対象者の増加
支援拠点機関だけで支えていくことは困難であり、圏域の相談支援センターなどと連携し、地域で支えることができるようにしていく。
- ・ 社会的行動障害者への支援
日中活動の場がないことが、大きな課題である。効果的な治療や日中活動の場を確保していくよう支援していく。
- ・ 一般就労への支援
就労関係機関との連携や、就労支援専門職の人材育成につながる支援をしていく。
- ・ 小児への支援
小児への支援については、必要に応じて学校へ出向くなどしているが、教育関係者などとの連携を強化していく。
- ・ 他医療機関などとの連携強化
主治医以外の医療機関を診察する際などに、本人説明が困難な場合が多い。この点を改善するためのツール「支援経過手帳」を作成し、実用化を目指す。
- ・ 地域差について
地域により資源に差がある。また、圏域の相談支援センターとの連携にばらつきがあり、地域での支援力に差が出てしまう。

愛知県 平成21～23年度報告

1. 支援体制

年度	21	22	23
支援拠点機関 電話	名古屋市総合リハビリテーションセンター 電話 (052) 835・3811		
支援コーディネーター (人)	2	3	3

2. 拠点機関数値実績

年度	21	22	23
(1) 拠点機関相談数 (件)			
来所	1228	1551	1561
訪問	22	62	48
電話連絡等	291	409	524
(2) 拠点機関連携数 (件)			
来所	96	124	106
訪問	29	84	64
電話連絡等	93	460	484
(3) 連絡会・協議会 (回)			
主催	2	2	2
講師等協力	8	4	—
(4) 研修会・講習会 (回)			
主催	8	2	6
講師等協力	5	17	18
(5) ケース会議・勉強会等 (回)			
主催	—	140	108
講師等協力	7	33	49

3. 自立支援法施設数値実績

年度	21	22	23
(1) 自立訓練利用者 (人) / 入所主			
利用者	129	118	94
(うち身障手帳未所持)	(23)	(30)	(27)
(うちTBI・うちCVA)	(18・69)	(22・75)	(19・42)
退所者	78	75	58
(2) 就労移行支援利用者 (人) / 通所主			
利用者	112	122	105
(うち身障手帳未所持)	(66)	(71)	(53)
退所者	69	82	64
(うち身障手帳未所持)	(35)	(50)	(33)
退所者中一般就労	43	56	34
(うち身障手帳未所持)	(25)	(34)	(21)

4. 主な活動

【21年度】

- ① 愛知県高次脳機能障害支援普及事業連携調整委員会
H21/9/30 委員（19名：拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）
H22/3/19 委員（同）
- ② 講習会・研修会の開催
H21/08/29 高次脳機能障害支援セミナー テーマ：遂行機能障害 参加 408名
講師：種村留美（神戸大学大学院）、深川和利（名古屋リハ）ほか
H21/11/21 脳外傷リハビリテーション講習会 テーマ：脳外傷者の就労 参加 142名
講師：田谷勝男（障害書職業総合センター）
- ③ 主な研修会講師等（愛知県内）
 - ・ 愛知県相談支援従事者初任者研修
 - ・ 愛知県市町村保健師研修会
 - ・ 豊田市高次脳機能障害相談会・研修会
 - ・ くも膜下出血家族会くるみ勉強会
 - ・ NPO 法人みずほ地区会講習会
 - ・ 日弁連交通事故サポートセンター高次脳研修
- ④ その他の主な活動
 - ・ 高次脳機能障害者生活適応援助者(生活版ジョブコーチ)養成研究事業の開始（～23年度）
—参加：8グループ 研修：前期3日間、後期2日間
 - ・ 名古屋リハ高次脳機能障害見学・研修会（県内病院関係対象） 計4回 220名参加
 - ・ 高次脳機能障害関連団体の運営施設への訓練委託—4施設、134名
 - ・ 「脳外傷後の高次脳機能障害者の実態調査」の発刊（科研）—H11年調査と同様の内容で、変化を検証
 - ・ 認知機能回復のための「訓練指導マニュアル」発刊／メディカ出版／H21.8
 - ・ 高次脳機能障害に関するパンフレットの更新、ポスターの作成

【22年度】

- ① 愛知県高次脳機能障害支援普及事業連携調整委員会
H22/9/17 委員（20名：拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）
H23/3/16 委員（同）
- ② 講習会・研修会の開催
H23/10/16 脳外傷リハビリテーション講習会 テーマ：社会的行動障害 参加：344名
講師：先崎章（東京福祉大学）
- ③ 主な研修会講師等（愛知県内）
 - ・ 愛知県相談支援従事者初任者研修
 - ・ 名古屋市障害福祉事務担当者会
 - ・ 豊田市高次脳機能障害相談会・研修会
 - ・ 豊田市社協稲武支所通所介護関係者研修
 - ・ NPO 法人高次脳機能障害者支援笑い太鼓
 - ・ 身体障害者リハビリテーション研究集会 2010〈全国大会/名古屋〉—高次脳部門：座長ほか
- ④ その他の主な活動
 - ・ 高次脳機能障害者生活適応援助者(生活版ジョブコーチ)養成研究事業（21～23年度）
—参加：10グループ、研修：前期1日間、後期2日間
 - ・ 名古屋リハ高次脳機能障害見学・研修会（県内行政機関対象） 計2回 91名参加

- ・ 高次脳機能障害関連団体の運営施設への訓練委託—4施設、132名
- ・ 名古屋リハ内での高次脳機能障害家族会相談会の開始（毎週1回）
- ・ 各種調査協力
 - 厚生労働科学研究（認知リハを受けた患者の社会的帰結、小児期受傷・発症の高次脳機能障害児者の支援実態調査）
 - 名古屋市（障害者基礎調査／高次脳機能障害者分）

【23年度】

- ① 高次脳機能障害支援普及事業相談支援体制連携調整委員会
 - H23/9/28 委員（20名：拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）
 - H24/3/21 委員（同）
- ② 講習会・研修会
 - H23/10/8 脳外傷リハビリテーション講習会 テーマ：モデル事業から10年、支援普及事業から5年、これからの5年に向けて 参加265名
講師：深津玲子（国リハ）、深川和利（名古屋リハ）、尾山芳子（NPO法人みずほ）
 - H24/2/18 高次脳機能障害専門家研修（精神手帳記載について—病院対象） 参加87名
講師：新畑敬子（名古屋市精神保健福祉センター所長）、ほか
 - H24/2/25 高次脳機能障害者生活適応援助者（生活版JC）養成研修報告会 参加225名
- ③ 主な研修会講師等（愛知県内）
 - ・ 名古屋市障害福祉事務担当者会議
 - ・ 愛知県相談支援従事者初任者研修
 - ・ 豊田市高次脳機能障害相談会・研修会
 - ・ 岡崎保健所高次脳研修会
 - ・ 愛知県精神保健福祉センター担当者研修
 - ・ 愛知県認定看護師協会研修
 - ・ 一宮地区SW協会高次脳研修
- ④ その他の主な活動
 - ・ 第20回日本交通医学工学研究会・学術総会／会長：蒲澤秀洋（名古屋市リハ）
—メインテーマ：高次脳機能障害
—シンポジウムA：松井靖浩（交通安全環境研究所）、篠田淳（木沢記念病院）、小野古志郎（日本自動車研究所技監）／シンポジウムB：阿部順子（岐阜医療科学大学）、安木剛（トヨタ自動車）、中島八十一（国リハ）
 - ・ 高次脳機能障害者生活適応援助者（生活版ジョブコーチ）養成研究事業（21～23年度）
—参加：11グループ、研修：前期2日間、後期報告会（前述）
—DVD、報告書作成
 - ・ 名古屋リハ高次脳機能障害見学・研修会（県内生活支援C対象） 計2回 83名参加
 - ・ 高次脳機能障害関連団体の運営施設への訓練委託—4施設、106名
 - ・ 名古屋リハ内での高次脳機能障害家族会相談会＝毎週午後1回
 - ・ 高次脳機能障害関連施設連絡会—事例検討、勉強会の開始＝毎月1回
 - ・ 高次脳機能障害「解体新書」の発刊 メディカ出版 2,800円（税別）
—監修：阿部順子、蒲澤秀洋 編著：名古屋市総合リハビリテーションセンター
—家族や職場、学校などはじめて高次脳機能障害者に接する方から専門家までに対応
 - ・ リーフレットの改定・刊行—名古屋リハ、愛知脳損傷協議会（ABIA）
 - ・ MTBIの自賠償における高次脳機能障害非該当事例（画像陰性事例）—国リハの画像陰性事例調査への積極的協力
 - ・ 県内病院の高次脳機能障害への対応調査

5. 今後の予定と課題

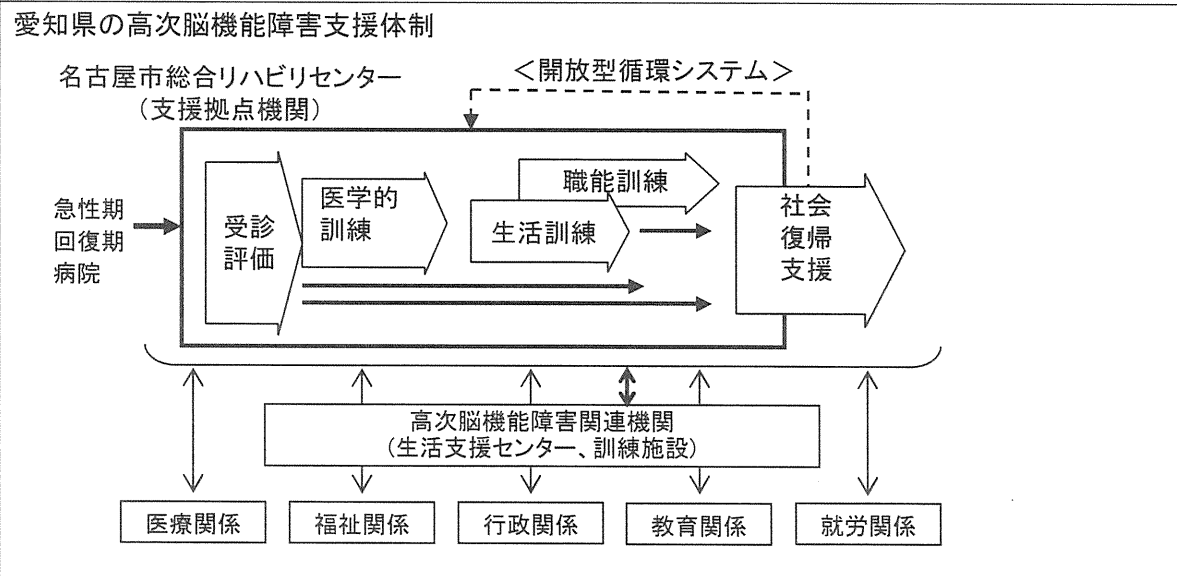
(1) 増え続ける高次脳機能障害者への訓練・支援体制の充実

高次脳機能障害者は脳外傷者を中心に継続的支援が必要な人が多いだけに、県内の支援体制の拡充が不可欠となっている。支援拠点機関を核とした地域の関係機関との連携の体制づくりが急務となっている。

- ① 名古屋リハの訓練・支援機能の充実（職員の異動等による影響）
- ② 愛知県内の支援機関の支援体制充実
 - ・ 入口部分：高次脳機能障害患者の受診・評価病院との協力強化
 - ・ 出口部分：圏域の相談支援機関の整備、支援力（生活版 JC の手法の活用等）拡充—制度改革（相談支援体系の見直し）を踏まえて

(2) その他

- ① 高次脳機能障害の理解（含、医療機関）の周知
 - ・ 研修会、個別ケースを通しての周知、リーフレットや HP 等の媒体による周知
 - ・ 制度関係（精神障害者手帳、障害年金、自賠責等の手続き方法）の医療機関等への周知
- ② 多様化している高次脳機能障害者の生活環境
 - ・ キーパーソンの不在者（1人暮らし、高齢化等）等への支援の内容の検討
- ③ MTBI の近年の課題
 - 自賠責における高次脳機能障害非該当事例（画像陰性事例）—国リハの画像陰性事例調査への積極的協力、対象事例の蓄積



厚生労働科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業
平成 21 年度～平成 23 年度 総括研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究
分担研究者 野村忠雄
高志リハビリテーション病院病院長

研究要旨

北陸ブロックのとりまとめを行い、富山県、石川県、福井県の3県に設置された地方支援拠点機関および地方自治体との北陸ブロック会議を開催し、各県の高次脳機能障害支援普及事業の円滑なる実施を図った。

A. 研究目的

北陸ブロックにおける高次脳機能障害者への専門的な相談支援のあり方、関係機関との連携のあり方など支援ネットワークの構築に関する手法を検討し、新たなシステムを構築する。

B. 研究方法

1. 北陸ブロック会議の開催：富山県高次脳機能障害支援センター(富山県高志リハビリテーション病院)を中心として、北陸ブロック会議および講演会を開催し、北陸3県での高次脳機能障害支援ネットワークを構築する。
2. 各県での取り組みに対して助言・支援を行う。

(倫理面での配慮)

調査研究は所属する施設の倫理委員会の承認を経て実施する。調査対象者の個人情報等に係わるプライバシーの保護ならびに如何なる不利益も受けないように十分配慮した。

C. 研究結果

1. 北陸ブロック会議および講演会の開催

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
日時 場所	平成 21 年 7 月 11 日 9:30～12:30 サンシップとやま	平成 22 年 7 月 31 日 9:30～12:30 石川県リハビリテーションセンター	平成 23 年 7 月 30 日 9:30～12:30 福井医療短期大学
会議	①各県の現状報告 ②事例検討 ③情報交換 北陸三県各支援センター職員・行政担当者、助言者 計 20 名	①各県の現状報告 ②今後の課題等について協議 ③各県事例検討「行動障害の著しい事例について」 ④情報交換 北陸三県各支援センター職員・行政担当者、助言者 計 22 名	①各県から現状報告 ②話題提供「認知グループ訓練について」(福井県) ③今後の課題等について協議 ④情報交換 北陸三県各支援センター職員・行政担当者、助言者 計 24 名
講演会	講師 名古屋市立大学医学部 脳神経外科 教授 山田 和雄 先生 演題「高次脳機能障害者にどう向き合うか ～私たちの取り組み～」 参加者 計 136 名	講師 静岡英和学院大学人間社会学部地域福祉学科 准教授 白山 靖彦 先生 演題「高次脳機能障害における通気支援ネットワークのあり方について」 参加者 計 40 名	講師 畿央大学大学院健康科学研究科 教授 森岡 周 先生 演題「脳科学から考える高次脳機能障害に対するリハビリテーション」 参加者 計 239 名

2. 各県の事業および研究報告

1) 富山県高次脳機能障害者支援センター事業実績

支援拠点 機関名	富山県高次脳機能障害者支援センター（富山県高志リハビリテーション病院内） Tel076-438-2233 平成19年1月15日開設		
支援コーディネーター (職種)	医師、臨床心理士、作業療法士、ソーシャルワーカー、その他（更生、授産、療護施設職員） 全職員兼務		
年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
当事者・家族からの 直接相談 (延べ件数)	電話： 51件 来院／来所： 57件 メール・書簡： 0件 その他（訪問・出張・同行等）： 10件 合計118件	電話： 190件 来院／来所： 304件 メール・書簡： 0件 その他（訪問・出張・同行等）： 6件 合計 500件	電話： 261件 来院／来所： 323件 メール・書簡： 15件 その他（訪問・出張・同行等）： 5件 合計 604件
機関・施設等からの 間接相談 (延べ件数)	電話： 63件 来院／来所 0件 メール・書簡 0件 その他（訪問・出張・同行等） 0件 合計63件	電話： 143件 来院／来所 22件 メール・書簡 0件 その他（訪問・出張・同行等） 1件 合計166件	電話： 196件 来院／来所 50件 メール・書簡 9件 その他（訪問・出張・同行等） 7件 合計262件
主催した 会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ78名 ・支援計画策定会議（46回） 対象者：支援センター構成員 参加者人数：延べ364名 ・高次脳機能障害講演会（1回） 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：136名 ・富山高次脳機能障害リハビリテーション講習会（共催）（1回） 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：102名 ・高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議（1回） 対象者：相談支援体制連携調整会議委員 参加人数：21名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議（4回） 対象者：運営委員17名 参加人数：延べ46名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ71名 ・支援計画策定会議（48回） 対象者：支援センター構成員 参加者人数：延べ428名 ・高次脳機能障害講演会（1回） 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：80名 ・富山高次脳機能障害リハビリテーション講習会（共催）（1回） 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：184名 ・高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議（会議2回、打合せ1回） 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員、助言者 参加者人数：延べ81名 ・高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議（1回） 対象者：相談支援体制連携調整会議委員 参加人数：16名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議（4回） 対象者：運営委員18名 参加人数：延べ58名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ87名 ・支援計画策定会議（46回） 対象者：支援センター構成員 参加者人数：延べ388名 ・高次脳機能障害講演会（1回） 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：214名 ・高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議（2回） 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員、助言者 参加者人数：延べ101名（内、講義参加51名） ・高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議（1回） 対象者：相談支援体制連携調整会議委員 参加人数：22名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議（2回） 対象者：運営委員 参加人数：延べ30名

協力した 会合	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県相談支援従事者初任研修講義 ・富山県相談支援従事者現任研修講義 ・高岡障害者就業・生活支援センター就労サポーター養成講座 ・石川県高次脳機能障害支援関係者連絡会講義 ・富山県障害者自立支援協議会専門部会（委員） 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山圏域支援ネットワーク会議事業説明 ・富山県相談支援従事者研修講義 ・障害者就業・生活支援センター中部北陸ブロック別経験交流会助言・アドバイザー ・障害福祉チャレンジ教室（富山短期大学にて講義） ・自由民主党富山県議会議員会勉強会にて講義 ・富山県東部、西部教育事務所にて小児の高次脳機能障害について講義 ・脳卒中連携合同勉強会講義 ・身体障害者リハビリテーション研究発表（座長） 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度富山県相談支援従事者研修講義 ・平成23年度富山県中部厚生センター管内地域精神保健福祉担当者連絡会講義 ・黒部市地域包括支援センター地域ケア会議講義 ・障害者職業センター職員研修講義 日本脳外傷友の会第12回全国大会 第1回実行委員会(実行委員)
	<p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業関係者研修会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業第1、2回支援コーディネーター全国会議 ・福祉レクリエーション講習会 ・夏期教育研修講座（中小企業家同友会） ・全国高次脳機能障害支援コーディネーター情報交換会 ・脳外傷友の会第9回全国大会 ・第33回日本高次脳機能障害学会学術総会 	<p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度第1回高岡圏域支援ネットワーク会議 ・平成22年度第1回富山圏域支援ネットワーク会議 ・脳外傷友の会第10回全国大会2010IN奈良 ・平成22年度高次脳機能障害支援普及事業第1・2回支援コーディネーター全国会議 ・平成22年度第1・2回高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・平成22年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・平成22年度高次脳機能障害専門職研修会 ・平成22年度就業支援基礎研修 ・第1・2・3回高次脳機能障害のグループ訓練（リハビリ専門家向け講座2010） ・平成22年度障害者就労支援ネットワーク研修会 ・平成22年度高次脳機能障害普及啓発研修会 ・平成23年度福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・平成22年度第2回富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・平成22年度富山地域職業リハビリテーション推進フォーラム ・砺波圏域就労移行支援セミナー2010（講演会・ワークショップ） 	<p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度第1回、第2回富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・平成23年度第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ・平成23年度第1回支援コーディネーター全国会議 ・平成23年度高次脳機能所外支援事業関係職員研修会 ・平成23年度第1回高岡圏域就労支援ネットワーク会議 ・高次脳機能障害支援情報マップ作成事業企画会議 ・石川県高次脳機能障害相談・支援センター平成23年度高次脳機能障害普及啓発研修会 ・福井県高次脳機能障害セミナー「脳科学から考える高次脳機能障害に対するリハビリテーション」 ・平成23年度リハビリテーション心理職研修会 ・脳外傷友の会第11回全国大会IN長野 ・高次脳機能障害セミナー・実務編「小児・後天性脳損傷セミナー」 ・富山大学大学院生命融合科学教育部シンポジウム「障害脳は回復するか」 ・第8回富山脳外傷リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害者の生活を支援する生活版ジョブコーチ（報告会） ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会
	<p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数10回 	<p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数10回 	<p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数11回

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット、漫画冊子の配布 ・リーフレット「子どもの高次脳機能障害を知っていますか？」の作成・配布 ・ホームページの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット・小児向けリーフレット、漫画冊子の配布 ・ホームページの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレットの更新 ・小児向けリーフレット、漫画冊子の配布 ・ホームページの掲載
<p>調査・情報収集活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者の生活実態調査 ・18歳未満に発症した高次脳機能障害者の相談ケースでの現況（北陸三県） ・小児期の脳挫傷患者の特徴成人例との比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害生活実態調査報告書のまとめ ・高次脳機能障害者に対する自動車運転評価について 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害に対する支援と神経心理学検査結果の推移 ・若年発症の高次脳機能障害における家族エンパワメントの評価 ・富山県高次脳機能障害者支援センターにおける就労支援の結果と課題
<p>診断評価・リハビリテーション等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・診断評価依頼 20件 ・評価及び外来リハビリ 実数 28件、延べ484件 ・グループ療法（23回） 実数5件、延べ63件 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・診断・評価依頼 39件 ・外来リハビリ（OT、ST、心理） 実数 17件、延べ291件 ・グループ療法（25回） 実数6件、延べ88件 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・診断・評価依頼 43件 ・外来リハビリ（OT、ST、心理） 実数 18件、延べ236件 ・認知グループ療法（24回） 実数7件、延べ86件
<p>その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害の診断・評価・リハビリ等に関する協力のお願（H21.3 医療機関へ依頼） 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内ローソンにポスターの掲示（1ヶ月間） ・とやまふれあいフェスティバル掲示 ・相談窓口紹介ガイド掲載（富山市保健所作成） ・新聞社の取材対応 ・リハビリソフトの購入・貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内コンビニローソンにセンターパンフレットを配置（1ヶ月間） ・とやまふれあいフェスティバル掲示 ・相談窓口紹介ガイド掲載（富山市保健所作成） ・新聞社の取材対応 ・障害福祉啓発理念普及啓発 DVD 出演協力
<p>その他（学会発表等）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・第44回日本作業療法学会発表「右被殻出血により使用行動を呈した一症例」「食事動作の改善を認めた脳梗塞例における情動の安定化と注意改善の関連について」 ・第34回日本高次脳機能障害学会（旧日本失語症学会）学術総会「机上1ADL検査で観察された認知症重症度による行動障害の違い」 ・第28回日本リハビリテーション医学会北陸地方会/生涯教育研修会プログラム「小児期受傷した外傷性脳損傷者の高次脳機能障害」 ・第47回日本リハビリテーション医学会学術集会「富山県における高次脳機能障害者の生活実態調査」 	<ul style="list-style-type: none"> ・第48回日本リハビリテーション医学会学術集会「高次脳機能障害者に対する自動車運転評価について」 ・第35回日本高次脳機能障害学会（旧日本失語症学会）「左後大脳動脈領域の梗塞により地誌的障害を呈した一例」

2) 石川県高次脳機能障害者相談・支援センター事業実績

支援拠点 機関名	石川県高次脳機能障害相談・支援センター（石川県リハビリテーションセンター内） Tel.076-266-2188 平成19年4月15日開設		
支援コーディネーター (職種)	保健師・臨床心理士		
年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
当事者・家族からの直接相談 (延べ件数)	電話：123件 来院/来所：78件 メール・書簡：3件 その他（訪問・出張・同行等）：10件 合計214件	電話：202件 来院/来所：167件 メール・書簡：10件 その他（訪問・出張・同行等）：19件 合計398件	電話：177件 来院/来所：205件 メール・書簡：20件 その他（訪問・出張・同行等）：22件 合計424件
機関・施設等からの間接相談 (延べ件数)	電話：102件 来院/来所：60件 メール・書簡：7件 その他（訪問・出張・同行等）：14件 合計183件	電話：253件 来院/来所：69件 メール・書簡：6件 その他（訪問・出張・同行等）：12件 合計340件	電話：350件 来院/来所：111件 メール・書簡：12件 その他（訪問・出張・同行等）：57件 合計530件
主催した会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（3回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ60名 ・生活支援教室（週1回 延べ48回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ304名 実12名 ・研修会（2回） ① 対象者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：23名 ② 対象者：生活支援及び就労支援関係者等 参加人数：63名 ・支援関係者連絡会 対象者：医療機関関係者 参加人数：38名 ・ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ69名 ・生活支援教室（週1回 延べ49回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ503名 実16名 ・研修会（2回） ① 対象者：医療機関、就労関係機関、市町等 参加人数：40名 ② 対象者：当事者・家族、医療機関、就労関係機関、市町等 参加人数：104名 ・支援関係者連絡会 対象者：協力医療機関等 参加人数：29名 ・ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ59名 ・生活支援教室（週1回 延べ49回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ526名 実13名 ・研修会（2回） ① 対象者：PT・OT・ST等 参加人数：110名 ② 対象者：当事者・家族、医療機関、就労関係機関、市町等 参加人数：60名 ・支援関係者連絡会（3ヶ所にて実施） 対象者：市町、医療機関、相談支援事業所、障害者関連施設、障害者就業・生活支援センター、保健福祉センター等 参加人数：55名 ・ケース会議
協力した会合	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業関係者研修会 ・平成21年度高次脳機能障害支援普及事業第1・2回支援コーディネーター全国会議 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・平成22年度高次脳機能障害支援普及事業第1・2回支援コーディネーター全国会議 ・第1・2回高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・脳外傷友の会第10回全国大会 ・ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業第1、2回支援コーディネーター全国会議 ・第1、2回高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・石川高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・平成23年度北陸ブロック連絡協議会 ・平成23年度第2回高次脳機能障害就労・生活支援ネットワーク会議 ・平成23年度福井県高次脳機能障害セミナー

			<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度リハビリテーション心理職研修会 ・平成23年度就業支援基礎研修 ・高次脳機能障害関係者研修（～公開集団リハビリテーション） ・ケース会議
広報・啓発活動	・パンフレット、ホームページ、センターニュースの発行	・パンフレット、ホームページ、センターニュースの発行	・パンフレット、ホームページ、センターニュースの発行
調査・情報収集活動			・石川県高次脳機能障害相談・支援センターにおける相談者の実態について
その他の支援活動	・家族会支援	・家族会支援	・家族会支援
学会発表等			・第39会北陸公衆衛生学会「石川県高次脳機能障害相談・支援センターにおける相談者の実態について」

3) 福井県高次脳機能障害者支援センター事業実績

支援拠点機関名	福井県高次脳機能障害支援センター(福井総合クリニック内)TEL0776-21-1300 平成20年5月15日開設		
支援コーディネーター(職種)	言語聴覚士		
年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
当事者・家族からの直接相談(延べ件数)	電話 : 479件 来院/来所 : 443件 メール・書簡 : 45件 その他(訪問・出張・同行等) : 123件 合計 : 1090件	電話 : 955件 来院/来所 : 911件 メール・書簡 : 69件 その他(訪問・出張・同行等) : 246件 合計 : 2181件	電話 : 953件 来院/来所 : 911件 メール・書簡 : 76件 その他(訪問・出張・同行等) : 140件 合計 : 2080件
機関・施設等からの間接相談(延べ件数)	電話 : 465件 来院/来所 : 41件 メール・書簡 : 23件 その他(訪問・出張・同行等) : 53件 合計 : 582件	電話 : 932件 来院/来所 : 51件 メール・書簡 : 92件 その他(訪問・出張・同行等) : 165件 合計 : 1240件	電話 : 883件 来院/来所 : 38件 メール・書簡 : 144件 その他(訪問・出張・同行等) : 101件 合計 : 1166件
主催した会合	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室(12回) 対象者: 家族・当事者 参加人数: 一般152名、関係者58名 ・高次脳機能障害交流会(6回) 対象者: 家族・当事者・一般 参加人数: 43名 ・高次脳機能障害勉強会(32回) 対象者: 新田塚医療福祉センター職員 参加人数: 597名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議(12回) 対象者: 支援センター運営委員 ・高次脳機能障害関係者研修(5回) 対象者: 医療・福祉・行政等関係者 参加人数: 90名 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室(12回) 対象者: 家族・当事者 参加人数: 一般67名、関係者48名 ・高次脳機能障害交流会(10回) 対象者: 家族・当事者・一般 参加人数: 53名 ・高次脳機能障害勉強会(39回) 対象者: 新田塚医療福祉センター職員 参加人数: 延べ539名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議(11回) 対象者: 支援センター運営委員 参加人数: 延べ112名 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室(11回) 対象者: 家族・当事者、関係者 参加人数: 一般83名、関係者63名 ・高次脳機能障害交流会(1回) 対象者: 家族・当事者 参加人数: 5名 ・高次脳機能障害勉強会(43回) 対象者: 新田塚医療福祉センター職員 参加人数: 延べ694名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議(11回) 対象者: 支援センター運営委員 参加人数: 延べ128名

	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県相談支援体制連携調整会議 対象者：相談支援体制連絡調整会議委員 参加人数：一般1名、関係者11名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議（53回） 対象者：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等 ・高次脳機能障害関係者研修（3回） 対象者：医療・福祉・行政等関係者 参加人数：89名 ・福井県相談支援体制連携調整会議 対象者：相談支援体制連携調整会議委員 参加人数：一般1名、関係者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議（42回） 対象者：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等 参加人数：延べ323名 ・高次脳機能障害関係者研修（3回） 対象者：医療・福祉・行政等関係者 参加者：91名 ・福井県相談支援体制連携調整会議 対象者：相談支援体制連携調整会議委員 参加人数：一般1名、関係者11名 ・高次脳機能障害セミナー（7月開催） 対象者：一般・関係者 参加人数：一般41名、関係者198名
協力した会合	<p><u>その他の研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害セミナー（検査版） ・高次脳機能障害セミナー（講演会） ・福井県奥越地区自立支援協議会 <p><u>ケース会議への協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて36回参加 	<p><u>講師協力した会合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県言語聴覚学術集会 ・福井県介護支援専門員協会 平成22年度総会 ・坂井地区障害児・者自立支援協議会 平成22年度第1回ケアマネジメント事例検討部会 ・平成22年度相談支援事業者現任研修 ・福井脳卒中県民講座 ・日本海急送株式会社 社内安全衛生講習会 <p><u>その他研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・福井県奥越地区自立支援協議会 ・福井県坂井地区自立支援協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 <p><u>ケース会議への協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて50回参加 	<p><u>その他研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・福井県奥越地区自立支援協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 <p><u>ケース会議への協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて62回参加
広報・啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリスト配布、使用 ・パンフレット、リーフレット配布 ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル（6施設） ・精神障害者保健福祉手帳診断書記載マニュアル改訂 ・支援センターニュース発行（No1～4） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリスト配布、使用 ・パンフレット、リーフレット配布（第2版6月発行） ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル（6施設） ・精神障害者保健福祉手帳診断書記載マニュアル改訂 ・支援センターニュース発行（No.5～23） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリスト配布、使用 ・パンフレット、リーフレット配布（第3版4月発行） ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル（3施設） ・精神障害者保健福祉手帳診断書記載マニュアル改訂 ・支援センターニュース発行（No.24～51）

調査・情報収集活動	<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関調査:支援センターパンフレットへの施設情報依頼し、40施設より希望あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関調査:支援センターパンフレットへの施設情報依頼し、55施設より希望あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者実態調査:46医療機関より返答あり
診断評価・リハビリテーション等	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・集団リハビリテーション (月・金:13:00~14:00 水:13:30~16:30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・集団リハビリテーション (月・金:13:00~14:00 水:13:30~16:30)
その他の支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力 ・テレビ局、新聞社の取材対応
その他(学会発表等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度高次脳機能障害専門セミナー(長野県)講演 ・東村山市医師会 市民公開講座講演 ・さわやか介護セミナー講演 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会2009広島発表 ・第25回日本リハ医学会北陸地方会発表 ・石川県高次脳機能障害相談支援センター生活支援教室講義 ・新田塚医療福祉センターフォーラム発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳卒中連携協議会発表 ・第28回日本リハビリテーション医学会北陸地方会発表 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会2010山形発表 ・第34回高次脳機能障害学会学術総会発表 ・福井県言語聴覚学術集会発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県言語聴覚士会 春の新人教育プログラム 講義「高次脳機能障害の評価」 ・日本認知心理士学会第9回大会発表「語の生成にSwitching機能とワーキングメモリ容量が与える影響について」 ・第12回日本言語聴覚士学会発表「語生成メカニズムにワーキングメモリ容量が及ぼす影響について—流暢性課題での検討—」 ・第48回日本リハビリテーション医学会学術集会発表「軽度外傷性脳損傷(MTBI)により高次脳機能障害を呈した3症例」 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会2011熊本発表「運動が注意機能に与える影響について」 「高次脳機能障害の障害年金申請における問題点~困難事例を通して検討~」 ・第35回高次脳機能障害学会発表「高次脳機能障害を主徴とするMELAS2例の経過」 「再就労を目標とした集団リハビリテーションの取り組み~社会的適応能力、障害認識の改善を目指して~」 「高次脳機能障害の障害年金申請における課題」 「生活リハビリテーションが奏功した高次脳機能障害の一例」 「生活リハビリテーションプログラム導入前後での変化」 ・40th Annual Meeting-montresl International Neuropsychological Society発表「The Relationship of World Generation Mechanism and Individual Differences in Working Memory Capacity」

3. 個別研究

平成 21 年度

- ・ 18 歳未満に発症した高次脳機能障害者の相談ケースでの現況（北陸三県）
- ・ 小児期の脳挫傷患者の特徴—成人例との比較—

平成 22 年度

- ・ 高次脳機能障害生活実態調査報告書
- ・ 高次脳機能障害者に対する自動車運転評価について

平成 23 年度

- ・ 石川県高次脳機能障害相談・支援センターにおける相談者の実態について
- ・ 高次脳機能障害に対する支援と神経心理学検査結果の推移
- ・ 若年発症の高次脳機能障害における家族エンパワメントの評価
- ・ 富山県高次脳機能障害者支援センターにおける就労支援の結果と課題

D 考察、結論

1. 過去 3 年間での発症からセンターへの相談までの期間は、徐々に短縮しているが、まだ経過の長いケースも見られたので、啓発活動を継続する必要がある。
2. 急性期病院との連携のみならず、生活、就学、就労支援では地域資源との連携を進める必要がある。
3. 自動車運転評価に関しても他機関との連携も今後の課題である。
4. 教育関係との連携が進みつつあるが、今後も小児期発症の高次脳機能障害への医学的対応、支援方法を確立していかなければならない。
5. 本人、家族への心理的サポートが重要であり、今後はピアカウンセリング体制の確立が望まれる。

北陸各県にセンターができて、高次脳機能障害のリハビリテーションは格段に進歩したが、今後は支援の内容の充実と連携の強化が課題であろう。